



ネイチャーセンターだより

2024年1・2月号

新・いきもの図鑑



ヒヨドリ (鶇)

全身灰色で尾羽がやや長く、「ピーヨ、ピーヨ」という大きな声特徴的な鳥。北海道で見られる亜種エゾヒヨドリは、現在は亜種ヒヨドリにまとめられ、本州で見られるヒヨドリと同じとされています。本州では一年を通してよく見られる身近な鳥の代表種ですが、道東では少なく、根室では以前は冬鳥として知られていました。現在は根室でも留鳥ですが、やはり冬の方が多く見られる鳥です。

日本国内で渡りをしていることが知られており、特に秋には大きな群れで移動し、納沙布岬でも海上を群れで渡っていく姿が見られることがあります。茨城県つくば市で調査した結果では、留鳥、旅鳥(通過)、冬鳥の3タイプのヒヨドリが市内に存在していたそうです。

日本全国でなじみのある鳥ですが、日本列島以外は台湾やフィリピンなど、ごく狭い範囲にしか分布していません。

【参考文献】河井大輔他. 2004. 北海道野鳥図鑑. 亜璃西社.
中村他. 1995. 原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>. 保育社.
山口恭弘. 2005. バードリサーチニュースVol.2 No.11.生態図鑑. バードリサーチ.

11月下旬にミヤコドリを観察しました

NEWS

11月27日9時頃、春国岱キタキツネコース入口の木橋のたもとにミヤコドリ3羽がいるのをレンジャーが確認しました。ミヤコドリはカムチャツカ、オホーツク海北部の沿岸、中国東北部、韓国などで繁殖し、冬は中国沿岸、台湾、ミャンマー西南部、日本で過ごす鳥です。北海道では春と秋の渡りの時期に見られる旅鳥で、春国岱では毎年、特に春の渡りの時期に多く見られます。今年4月25日に最大80羽を確認し、その後6月には見られなくなったものの、7月から9月にかけて10羽ほどが風蓮湖内や根室湾で観察されていました(図1)。【参考文献】日本鳥学会. 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 日本鳥学会.

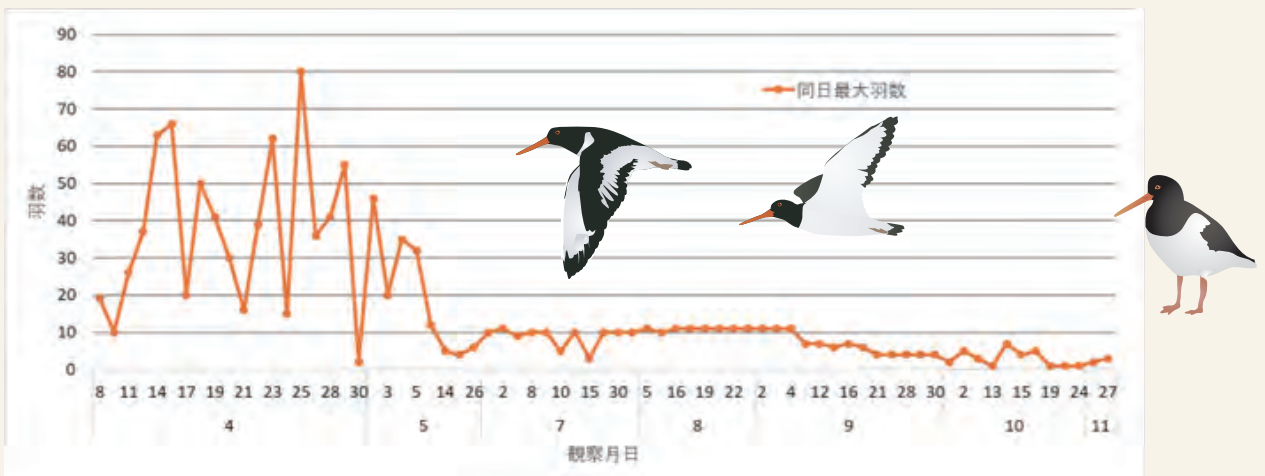
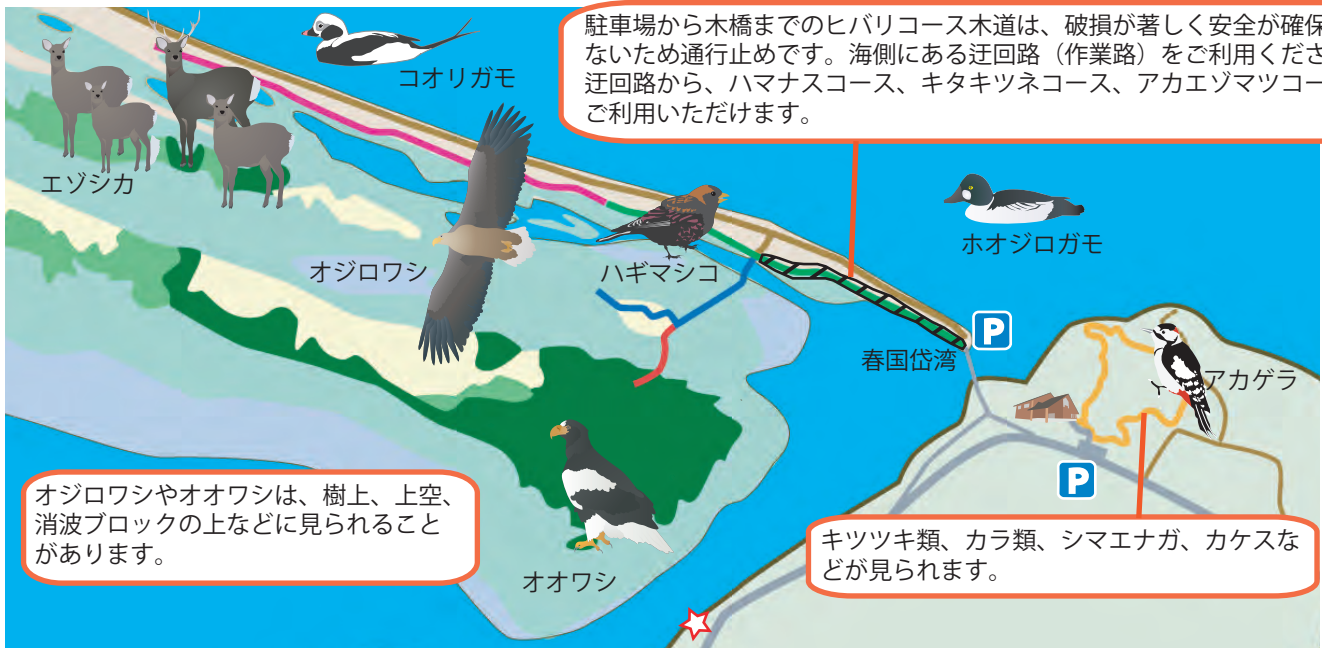


図1. 2023年4-11月の春国岱周辺でのミヤコドリ確認羽数

見どころMAP

※冬期の木道除雪は行っておりません。積雪がある場合は、足元に十分ご注意ください。コース以外の場所は湿原があり、積雪により地面のように見えても立ち入らないようにしてください。凍結した湖面を歩くこともご遠慮ください。



駐車場から木橋までのヒバリコース木道は、破損が著しく安全が確保できないため通行止めです。海側にある迂回路（作業路）をご利用ください。迂回路から、ハマナスコース、キタキツネコース、アカエゾマツコースをご利用いただけます。

オジロワシやオオワシは、樹上、上空、消波ブロックの上などに見られることがあります。

キツツキ類、カラ類、シマエナガ、カケスなどが見られます。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.4km、約10分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

1・2月の見どころ予報

凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ	○	上空で飛翔する様子や、風蓮湖の結氷部分、春国岱の立木や海岸で休む様子が観察できます。2月は、風蓮湖内のワシ類の個体数が最も多くなる月で、特に多いのは、中旬頃です。
オオワシ	○	
タンチョウ	▪	湿原や風蓮湖が結氷すると釧路で越冬するため、春国岱で目にする機会は少ないです。例年、2月下旬～3月上旬になると春国岱に戻ってきます。
オオハクチョウ	○	根室では、ほとんどが南へ渡っていきますが、少数は風蓮湖や根室湾の凍っていない水面の周りで見られます。
カモ類	○	ホオジロガモやウミアイサが風蓮湖や海上で観察できます。沖では、クロガモの群れやビロードキンクロ、コオリガモが見られることもあります。
カモメ類	○	オオセグロカモメやシロカモメが風蓮湖や海上で見られ、カモメ、ワシカモメが見られることもあります。
春国岱	野鳥	ヒバリコース迂回路沿いの草原でハギマシコの群れが見られることがあります。2月にはアカエゾマツコースでヒガラのさえずりが聞こえるようになります。
	けもの	エゾシカはよく見られ、まれにキタキツネが見られます。
自然学習林	野鳥	ハシブトガラ、シジュウカラ、ヒガラ、ゴジュウカラ、キバシリ、キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)、カケス、シマエナガ、キクイタダキなどが見られます。
	けもの	エゾシカがよく見られ、ごくまれにエゾリスが見られることがあります。積雪があるといろいろな動物の足跡が見られます。

オオワシ飛来状況と予報

オオワシは黄色い大きなくちばしが特徴の、冬になるとロシアから渡ってくるワシの仲間です。春国岱では、毎年1・2月になるとオオワシを見に、日本全国からはもちろん、世界各国から人がやってきます。

2023年度冬期の飛来状況

2023年10月23日に春国岱先端の地上に成鳥1羽が降りているのを見つけ、これが今季初の確認でした。その後、11月に姿を確認した日は7日あり、オオワシがいたのは春国岱先端や第三浜提（アカエゾマツの森）またはキタキツネコースの上空や樹上でした。最大で同時に4羽を確認しています。12月になるとさらに観察される日は多くなり、12月18日までに観察できたのは8日間。やはり春国岱先端で見られることも多いですが、キタキツネコース周辺で見られる日が増えてきました。湿原が凍結しているときは、氷上に降りている姿を見ます。

1・2月の予報

過去の出現記録では2月が最もよく観察されており、1～3月は少し気を付ければ見つけることができます（表1）。凍った湖面上やその周辺の樹上によく見られ、根室湾の氷上でも観察されます。氷上では黒い体と黄色いくちばしが目立ち、樹上ではやはり黄色いくちばしと肩の白い羽根が目立ちます。上空を飛んでいることもあるので、上空を確認するのもお忘れなく。

オオワシねらいで春国岱を散策する場合は、春国岱駐車場からヒバリコース（迂回路）、キタキツネコース、ハマナスコースがおすすめです。なお、湖面が凍っていても、氷上を歩くことはご遠慮ください。野鳥との適切な距離を保つことだけでなく、氷が割れる恐れがあり大変危険です。

表1. 2023年1-2月の春国岱周辺で観察されたオオワシ羽数

月日	春国岱・東梅ハイド	温根沼・温根沼大橋北側
1月3日	42	29
2月4日	83	39
2月12日	70	55
2月26日	74	40



▲樹上のオオワシ（春国岱）

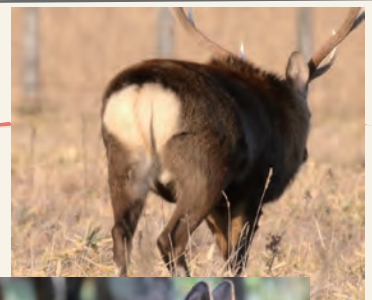


▲氷上のオオワシ（春国岱海側。スマスコで撮影）

春国岱クイズ

エゾシカは夏と冬で毛が生え変わり、体の色が変わります。夏は明るい茶色に白い斑点がありますが、冬は全身こげ茶色。冬毛のエゾシカはお尻の白い毛がよく目立ちます。よく観察していると、このお尻の毛がふくらんでフサフサになっていることがあるのですが、お尻の毛がふくらんでいるのはどんな理由があるのでしょうか？

- ① かわいく見せるため。ほら、ポンポン見たいでキュートでしょ？
- ② お尻が寒いから。鳥が寒いときに羽をふくらませるのと同じだよ。
- ③ 警戒しているため。毛を逆立てて目立たせているよ。



▲上) 冬毛のエゾシカのお尻
下) お尻の毛がふくらんでフサフサになっているときの様子

答えはウラのページ

1・2月はイベントもりだくさん！

◆1/27 (土) ~ 2/29 (木) 菅原貴徳・旅に出たくなる野鳥写真展 in 根室

今注目の若手野鳥写真家・菅原貴徳氏の写真展。日本や世界を旅して出会った美しい自然風景とそこに暮らす野鳥たちの写真を展示します。

◆2/3 (土) ~ 2/29 (木) ねむろの野鳥イラストコンテスト

コンテストに応募したみんなのイラストを展示します。

共通◇時間：開館中いつでも

◇場所：春国岱ネイチャーセンター 2階

◆2/25 スノーシューでこどりのこみちさんぽ

スノーシューをはいて、ネイチャーセンターのとなりの自然学習林でいろいろな生きものや、生きものが残っていたあをを探します。スノーシューは無料で貸し出します。

◇日 時：2024年2月25日(日)10:00~12:00

※荒天時は中止

◇集合・解散：春国岱ネイチャーセンター

◇対 象：どなたでも(小学生以下は保護者同伴)

◇定 員：15人(先着順)

◇参加費：1人100円(小学生以下)、200円(中学生以上)

◇服装・持ち物：外で活動できるあたたかい服装・長ぐつ、帽子、手袋、あたたかい飲みもの

◇申込方法：メール、電話または直接。参加者全員の氏名、電話番号、小学生以下の方は年齢・学年もお知らせください。

申し込み受付期間 ~2月23日(祝・金)16時

◇主 催：ボランティアグループ「スंक」

◆3/3 フィールド講座「根室の野鳥を記録しよう -撮影が貴重なデータとなる-」

日本で見られる鳥の約半数の種類が確認されている風蓮湖・春国岱では、珍しい鳥がやってくることも少なくありません。今回は、普段から識別ポイントを押さえた写真を撮影しておられ、数々の珍しい野鳥を確認されている根室市在住の宮内宗徳さんに、写真を通して野鳥を識別する方法や、野鳥撮影の楽しみ方についてお話していただきます。

◇日 時：2024年3月3日(日)13:30~15:00

◇場 所：春国岱ネイチャーセンター 2階

◇対 象：小学校高学年~おとな

◇定 員：30名(先着順)

◇参加費：無料

◇持ち物：筆記用具

◇申込方法：メール、電話または直接。参加者全員の氏名、電話番号、小学生以下の方は年齢・学年もお知らせください。

申し込み受付期間 ~3月1日(金)16時

募集中!

ボランティア『スंक』

春国岱ネイチャーセンターでは、施設ボランティアグループ『スंक』で活動して下さる方を随時募集しています。

『スंक』は、ネイチャーセンター周辺の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び行動することを目的として活動しています。月に1回(基本的に第3月曜日)の定例会で、自然学習林の巡回や道標・樹名板などの管理を行ったり、市民向けのイベントを企画したりしています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。

ボランティアに興味のある方、定例会の見学ご希望の方は、ネイチャーセンターまでお問合せください。

◆対象：18歳以上

◆年会費(ボランティア保険料含む)：1,000円

フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 春国岱の駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは法律で禁止されています
- 観察路からはずれないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 禁煙にご協力ください
- 野生動物の生息地です。マダニも多く生息しています。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください。
- ドローンを飛行される際は、他の利用者や野生生物に配慮をお願いいたします。

クイズのこたえ 答③。危険を感じたり驚いたりすると毛を逆立てます。お尻の毛はふくらむと目立ち、群れの仲間に警戒信号として知らせています。
【参考文献】・林野庁。2012。森林における鳥獣被害対策のためのガイドー森林管理技術者のためのシカ対策の手引き。林野庁森林保護対策室。
・一般財団法人奈良の鹿愛護会。2023。行動・生態。https://naradeer.com/learning/ecology.html (2023/12/8 閲覧)

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL：0153-25-3047 FAX：0153-25-8570

Eメール：nemu_nc@marimo.or.jp

HP https://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

Facebook <https://www.facebook.com/shunkunitai/>

◆開館時間 9：00 ~ 16：30

◆休館日：1月1~3・9・10・17・24・31日

2月7・13・14・15・21・26・28日

◆団体でご利用の方へ (事前予約制・2週間前までにご連絡ください)

自然観察の案内や室内でのレクチャーなどのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月 登録